



厚生労働省福島労働局発表  
令和4年12月19日(月)

担 当	【照会先】
	福島労働局職業安定部職業安定課 課長 井関 義浩
	課長補佐 菅野 茂
	地方職業安定監察官 梅原佐登志 TEL 024(529)5578 FAX 024(536)4200

## 令和3年度におけるハローワークのマッチング機能に関する 業務の取組結果について

福島労働局（局長 河西直人）は、ハローワークの求人・求職のマッチング機能の一層の強化を図るため、令和3年度に実施した取組の結果をとりまとめました。

各ハローワークは、例年、マッチング機能の強化を図るため、PDCAサイクルによる目標管理に取り組み、労働市場の状況や業務量、体制が同じような全国のハローワークで11のグループを作り、その中で比較・評価を行う「総合評価」を実施しております。

しかし、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症による労働市場やハローワークにおける業務への影響が不透明であり、また地域ごとで多様であることを踏まえ、年度当初に数値目標を設定して行う「総合評価」は実施せず、各種業務指標等の実績を把握し、取組状況を踏まえた業務改善及び職員の資質向上に取り組みました。（別添1参照）

今般、令和3年度の取組結果を別添2「就職支援業務報告」のとおりとりまとめましたので、公表いたします。

### 記

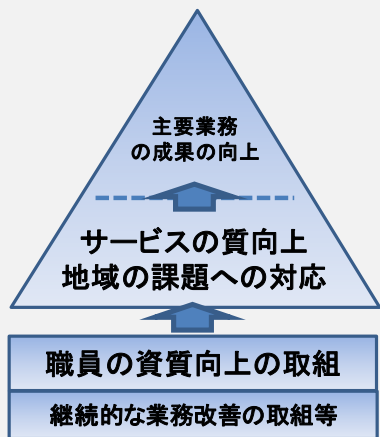
#### 令和3年度の業務実績（主要指標）

- ①就職件数（常用）  
24,779件（過去3年度の実績平均 28,356件）
- ②充足件数（常用）  
23,921件（過去3年度の実績平均 27,404件）
- ③雇用保険受給者の早期再就職件数  
7,097件（過去3年度の実績平均 7,710件）

- すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。  
次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会(労働政策審議会(本省)や地方労働審議会(労働局))にも報告。
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。
- 令和3年度は、コロナ禍の業務への影響が引き続き不透明であり、また地域ごとで多様であることも踏まえつつ、その実施方法を一部変更した上で、業務改善に繋げる一連の流れは継続実施。

### (1) 業務ごとの実績管理

- ① 就職率等の主要指標
- ② 業務の質に関する補助指標
- ③ ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する所重点指標について、毎月の実績把握とともに、ハローワーク毎に設定する目標値に代えて、過去3年度における当該項目の実績との対比等により、進捗管理。
- ④ ハローワーク毎に、中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進するための所重点項目については、例年同様に取り組み。



短期的な成果の向上だけでなく、中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、マッチング機能を強化

### (2) 取組状況の公表・分析

- 業務の成果について毎月公表  
→各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に令和3年度の取組結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。  
→グループ毎の相対評価は行わず、ハローワーク毎に過去実績との比較により振り返りを行うこと等により、所長が当年度の取組結果について分析を行う。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項に関する所長の分析、指標ごとに過去3年度実績と対比した実績などを公表

- ハローワーク毎の取組結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

### (3) 好事例の収集・横展開など、継続的な業務改善

- ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、個別のハローワークへの改善指導や好事例の横展開を実施
- ① 取組状況や結果に応じ、業務改善が必要なハローワークに対する労働局からの問題状況の改善指導
- ② 本省において全国的に好事例を収集し、全国展開するとともに、労働局においても好事例などをとりまとめ、公表・横展開

※ **赤字部分**が、例年と変更して実施する主な部分

令和3年度  
ハローワークのマッチング機能に関する  
業務の取組結果  
(就職支援業務報告)



福島労働局職業安定部

# 令和3年度ハローワークのマッチング機能に関する業務実績

## 【マッチング機能に関する中核的な指標】(主要指標)

( )は過去3年度の実績の平均

	労働局計	福島	いわき	会津若松	郡山	白河	須賀川	相双	二本松
就職件数 (常用)	24,779件 (28,356)	4,819件 (5,379)	4,804件 (5,468)	3,706件 (4,431)	4,392件 (5,114)	1,808件 (1,994)	1,669件 (2,058)	2,325件 (2,456)	1,256件 (1,456)
充足件数 (常用)	23,921件 (27,404)	4,662件 (5,387)	4,545件 (5,167)	3,528件 (4,184)	4,543件 (5,202)	1,710件 (1,863)	1,407件 (1,797)	2,287件 (2,459)	1,239件 (1,344)
雇用保険受給者の早期再就職件数	7,097件 (7,710)	1,324件 (1,425)	1,496件 (1,501)	876件 (1,054)	1,522件 (1,677)	490件 (512)	475件 (552)	574件 (572)	340件 (417)

※就職件数 ハローワークの紹介により常用就職した件数

充足件数 ハローワークの常用求人(受理地ベース)の充足件数

雇用保険受給者の早期再就職件数 雇用保険基本手当の所定給付日数を3分の2以上残して就職した件数

(注)令和3年度は、コロナ禍の影響を踏まえ、目標値に代えて、過去3年度の実績との対比等、一部変更して実施。

# ハローワーク福島 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら各種の説明会やセミナーを開催し、求職活動の知識・技能の習得や職業を知る機会の付与により就職件数の向上を図った。新規求職者は減少したがこれを好機と捉え、1人1人の求職者に対してさらにきめ細やかな職業相談を実施し、的確な求職者ニーズの把握と能動的マッチングに重点を置いた。また、双方向型の求職者担当者制（求職者の希望により、職員が1対1で支援する制度）へ積極的に誘導し、寄り添うハローワークとして求職者に意識していただけるよう、キャリアコンサルティングを念頭に、求人情報の提供と就職支援を行い、就職件数の増加を図った。
- ・求人充足については、前述のきめ細やかな職業相談を通じて把握した、よりの確な求職者のニーズを踏まえた求人の確保に努めるとともに、開拓求人については重点支援対象求人として選定のうえ、求人者担当制によるフォローアップを行うほか、失業認定日の職業相談時において、積極的に求人票以上の事業所情報を含めた求人情報の提供を行った。
- ・生活保護受給者等の就職率に関しては、就職支援ナビゲーターによる個別支援に重点を置き、継続できる就労（定着）を目指した職業相談を実施することで、求職者の状況把握が深まったことが目標を超えた就職率につながった。
- ・就職氷河期世代については、所独自の就職支援セミナーを実施し、就職の実現に向けた知識・技能を深め就職に結びつけた。新型コロナウイルス感染予防のためセミナーの定員上限を毎回4名としたため、対象者全員の参加が出来ない状況であったが、就職氷河期世代専門窓口担当者によるグループミーティングを含むケース会議を数多く開催し、きめ細やかなフォローアップを行うことで就職件数を伸ばすことが出来た。
- ・医療・福祉、建設、警備、運輸等人材不足分野については、「人材サービスコーナー」を中心に窓口での積極的な求人情報提供のほか、関係機関・団体との連携による説明会・面接会の開催、業界に特化した職場説明会・見学会の開催により潜在求職者の開拓、求人充足の促進を図った。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、令和2年度は各種イベント等、中止したものがあつたが、面接会・セミナー等を希望する事業所及び求職者の要望に応えるために、令和3年度においては、「ソーシャルディスタンスを考えた座席配置」「手指消毒の徹底」「全参加者に対する検温と・問診票による体調確認」等の感染対策を実施することにより開催した。しかし、新型コロナウイルスの感染防止（ソーシャルディスタンス）から定員を減らしたため、希望者全員が参加することが出来なかつた。そのため、セミナー等の集団型支援から、双方向型の求職者担当者制又は窓口におけるじっくり時間をかけた職業相談等、個別型支援に舵を切り替えることにより、より求職者に寄り添つた支援を行った。
- ・職業相談にじっくり時間をかけることにより待ち時間が発生しないよう、認定日における職業相談窓口を設け緊要度に応じた職業相談に重点を置くことで、職業相談の効率化を図つた。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・混雑時における職業紹介窓口の体制及び対応策等を見直し、さらなる待ち時間の解消を図る。
- ・利用者の待ち時間を活用した就職支援・充足支援のための情報提供を行う。
- ・求職者及び求人者マイページの普及促進を図り、マイページを活用した支援をさらに強化する。
- ・伊達市、福島市との雇用対策協定がそれぞれ締結から4年目、3年目となるため、連携体制の見直しと拡充を図り、新たな事業の展開も含めた事業計画を検討することで、さらなる事業内容の充実・強化を図る。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・新型コロナウイルス感染防止対策のために、地方公共団体と集合会議が十分に出来ないケースもあつたが、今後は新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、かつ、感染防止対策を図りながら、さらに連携を密にし情報を共有することで、地域の雇用失業情勢に迅速・的確に対応できる体制づくりを図る必要がある。

## 2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就職件 数	紹介率	生活保護受給 者等の就職率	障害者の就職 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついた就 職氷河期世代 の不安定就労 者・無業者の 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついたフリ ーターの件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
令和3年度実績	4,819	4,662	1,324	105.8%	100.3%	356	326	794	96.8%	12,638	2,292
過去3年度平均	5,379	5,387	1,425	112.0%	79.0%	307	334	614	94.5%	13,764	2,496
令和2年度実績	4,743	4,978	1,219	108.1%	82.6%	327	334	614	94.4%	12,153	2,163
対令和2年度比	101%	93%	108%	97%	121%	108%	97%	129%	102%	103%	105%
令和元年度実績	5,650	5,647	1,475	113.5%	82.4%	326	—	—	94.6%	13,799	2,517
対令和元年度比	85%	82%	89%	93%	122%	109%	—	—	102%	91%	91%
平成30年度実績	5,743	5,536	1,582	113.9%	72.4%	267	—	—	94.4%	15,339	2,809
対平成30年度比	83%	84%	83%	92%	139%	133%	—	—	102%	82%	81%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

# ハローワークいわき 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・就職件数の向上を目指し、新型コロナウイルス感染症感染状況を踏まえたうえで、求人情報の提供、双方向型の求職者担当者制の実施等の職業相談・紹介に努め、能動的マッチングを図りきめ細やかな就職支援を実施した。
- ・求人充足対策として、求人担当者制の実施や、求人・求職双方の担当者による定期的な求人充足会議による支援対象求人にかかる充足支援の実施の他、毎日1件の支援求人選定による担当者制求人充足支援を行い、求人受理後のフォローアップを図った。
- ・雇用保険受給者の早期再就職支援に関しては、雇用保険説明会や早期の職業相談の中で、就職促進手当の活用によるメリットの説明や求職条件とのマッチングによる求人情報の提供をすすめる、再就職支援を実施した。
- ・人材確保対策コーナーにおける人手不足分野（福祉、建設、警備、運輸）への人材確保対策として、窓口での積極的な求人情報の提供をはじめ、「ミニ面接会」を開催した。
- ・いわき市との間に締結している「いわき市雇用対策協定」に基づく各種事業について、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図りながら、各種面接会や説明会等の共催事業を実施した。また、地域における雇用調整事案についての情報共有を図り、適切な対応を実施した。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・求人充足対策の強化のため、アクティブ（積極的）充足求人として毎日1件の求人を選定し、職業相談担当者がそれを輪番制により受け持つことで求人充足率の向上を図った。
- ・職業訓練の一層の活用促進を図るため、所内におけるチラシ、リーフレット類や職業訓練施設における成果物の展示方法を工夫しわかりやすく見やすい配置にするなど改善した。また、ラジオ放送による説明・周知や、管内の商業施設等に職業訓練案内のポスター掲示を依頼しハローワーク利用者以外へも周知を図った。
- ・人材確保対策推進のため、「三位一体→【見(魅)せる(壱ノ型)＝ワンストップで魅せる、届ける(弐ノ型)＝粘り強く、あきらめない、責任(自覚)持つ(参ノ型)＝分野別マッチング担当者制】」による攻めの支援を実施し、マッチング機能の向上を図った。



(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、上記の取り組みを適時点検のうえ適切な見直しを図り推進する。
- ・ハローワークシステム刷新に伴う求人者・求職者マイページによる各種サービスの周知・説明を広く展開し、ハローワークのサービス全体とその利用促進を図る。
- ・いわき市との雇用対策協定を締結して5年目となり、共同で実施している各種事業に関してより効果的で実効あるものとなるよう、事業内容を総括検討し、連携体制の維持・向上を図る。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・コロナ禍前の令和元年度と比較すると、新規求人数については▲13.6%減少、新規求職者数は▲7.2%減少となっており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大きく影響しているものと思われる。特に卸売・小売業（▲23.9%）や飲食業（▲10.9%）における求人数減少が顕著となっている。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ハローワークとして能動的な取り組みが積極的に推進することができにくい状況のもと、感染防止対策を十分にとり人手不足業種の人材確保対策としての「ミニ面接会」や「企業説明会」等を開催し、コロナ渦の中でも「できること」「やれること」を創意工夫し実施した。

## 2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就職件 数	紹介率	生活保護受給 者等の就職率	就職支援ナビ ゲーターの支 援による正社 員就職件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついた就 職氷河期世代 の不安定就労 者・無業者の 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついたフリ ーターの件数	マザーズハロ ーワーク事業 における担当 者制による就 職支援を受け た重点支援対 象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
令和3年度実績	4,804	4,545	1,496	96.1%	73.2%	444	264	559	93.4%	16,736	2,711
過去3年度平均	5,468	5,167	1,501	102.0%	64.0%	374	240	518	95.2%	18,093	3,051
令和2年度実績	4,803	4,529	1,270	95.3%	61.2%	357	240	518	96.4%	16,948	2,723
対令和2年度比	100%	100%	117%	100%	119%	124%	110%	107%	96%	98%	99%
令和元年度実績	5,670	5,405	1,574	103.5%	64.5%	398	—	—	93.8%	18,554	3,102
対令和元年度比	84%	84%	95%	92%	113%	111%	—	—	99%	90%	87%
平成30年度実績	5,930	5,567	1,660	106.4%	67.1%	368	—	—	95.3%	18,778	3,327
対平成30年度比	81%	81%	90%	90%	109%	120%	—	—	98%	89%	81%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

# ハローワーク会津若松 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

ア コロナ禍の中、新規求職者、有効求職者数ともに減少する状況の中マッチング機能の強化のため「1人1日2件以上の情報提供（イチイチニー取組）」及び「(能動的な求人情報提供機能を強化し、より多くの職業紹介に繋げるプロジェクトである) アクティブ・マッチング・プロジェクト」を実施し就職件数の増加を図った。合わせて「(迅速な求人情報活用の仕組みを整える) クイック・プロバインド・プラン（QPプラン）」や「求人充足会議」（毎週金曜日）等を実施し求人充足数の確保に努めた。

イ 雇用保険受給者の早期再就職支援のため、1)「初回認定日における求人の事前マッチング」2)「認定日以外に来所した方への手厚い支援（複数の求人提案）」3)「初回講習会の充実（集団指導による各種支援サービスへの誘導）」を実施し、雇用保険受給者の就職意欲の喚起を図った。

ウ 新型コロナウイルス感染防止の観点から、障害者就職面接会は対面方式での面接会が中止となったため、リモートによるオンライン企業説明会や面接会を実施し障害者の雇用促進に努めた。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

ア 第一回キャリアコンサルティング研修（基本的な技能の習得）

イ 第二回キャリアコンサルティング研修（課題解決型支援ツールの習得）

ウ 第三回キャリアコンサルティング研修

エ 職業紹介基本業務研修

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

ア 新規求職者数が減少する中、高齢求職者の割合は増加傾向にある。高齢求職者の就職支援のためシニア就職応援セミナーを開催し、シニア向けに作成した資料を配布し労働市場や求職活動方法に関する知識の付与及び就職意欲の喚起を行った。

イ 雇用対策協定を結んでいる会津若松市の協力を得て、「FM放送」内で月1回ハローワークの支援メニューについての周知・広報を実施し

た。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ア 有効求職者数の約4割を占めるシニア層を対象に「アクティブ・マッチング・プロジェクト」の更なる拡充を図り就職件数及び充足数の確保を目指すとともに、「シニア求人コーナーのご案内（所独自リーフレット）」を活用しての高齢者向け求人確保を強化する。

イ 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、面接会やセミナーなどを継続的に開催し、就職支援に向けた取組を継続する。

ウ 求職者マイページの登録勧奨を行うとともに、求職者マイページを活用した情報提供や職業紹介に努める。また、オンライン登録者に対し、ハローワークの支援メニューについての周知及び来所勧奨を行う。

(4) その他業務運営についての分析等

ア 新型コロナウイルス感染拡大の影響から来所を控える求職者が一定する存在する状況があり、新規求職者数の減少が続いている影響から、就職件数、充足数、雇用保険受給者の早期再就職件数、紹介率と目標達成には至らなかった。一方で、人手不足分野を中心に求人数は増加傾向にある。目標達成に向けて、求人と求職者のミスマッチの解消が喫緊の課題となっている。求人票以上の情報収集に努め、求人充足会議などを通じ、更なる情報共有を図る必要がある。

## 2 特記事項

上記「1の(2) サービス改善・業務改善を図った事項」の中で新たな取組として、雇用対策協定を結んでいる会津若松市の協力を得て、エフエム会津の「市役所情報スタジアム」内で月1回求職者支援訓練やハローワーク支援メニューの周知・広報を行った。

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	生活保護受給者等 の就職率	障害者の就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	3,706	3,528	876	101.9%	74	204	331	10,192	1,733
過去3年度平均	4,431	4,184	1,054	108.0%	76	211	246	8,924	2,010
令和2年度実績	3,815	3,591	863	103.8%	67	177	246	8,427	1,721
対令和2年度比	97%	98%	101%	98%	109%	115%	134%	120%	100%
令和元年度実績	4,661	4,398	1,139	110.7%	81	230		9,211	2,063
対令和元年度比	79%	80%	76%	92%	91%	88%		110%	84%
平成30年度実績	4,817	4,564	1,159	110.9%	79	227		9,135	2,247
対平成30年度比	76%	77%	75%	91%	93%	89%		111%	77%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

# ハローワーク郡山 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 新型コロナウイルスの感染拡大下における業務運営について

令和3年度の職業紹介業務の推進にあたっては、新型コロナウイルスの感染発生による行政サービス低下を生じさせないため、全ての相談窓口に飛沫防止パネルを設置し、就職面接会や各種セミナーの開催にあたっては予約制による実施とし、いわゆる「三密」を回避する等の感染拡大防止対策を徹底し業務運営に取り組んだ。また、コロナ禍での各種支援施策を効果的に実施するため、「コロナ対応ステップアップ相談窓口」（令和3年2月設置）や「新卒者内定取消等特別相談窓口」（令和2年4月設置）を運営するとともに、雇用調整助成金や産業雇用安定助成金の周知徹底と迅速支給に係る業務処理に取り組んだ。

#### ② 各指標に対する取組

コロナ禍の影響もあり求職者数は減少傾向となったものの、求人数についてはアフターコロナを見据えた人材確保の動きも見られ増加傾向で推移したことから、重点的に能動的マッチング支援に取り組んだ。主な取組みとしては、地元自治体や近隣及び隣県のハローワークと連携し、地元の製造業を中心とした「ものづくり企業就職面接会」を3回開催した。また、介護就職デイに合わせ「介護デイ福祉関係合同面接会」を開催し、企業の個別ブースの他に「介護支援ロボット」や「高齢者体験キット」等を展示するとともに、参加企業の施設内の状況等を動画で上映し、介護分野への理解促進を図った。併せて、コロナ禍の影響を受けた非正規労働者への支援の一環として、管内の商業施設において関係機関と連携し「急がば学ぼう！ハロトレフェア in 郡山」を開催し、日頃ハローワークを利用されない求職者に対しても幅広く職業訓練制度の周知と利用促進を図った。

#### ③ 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

求職者が減少傾向で推移するものの、就職に向けた様々な支援を必要とする求職者の期待は高いものがあり、この期待に的確に答えていく必要があること、また、若手職員の育成と資質向上を図る必要があること等から、若手職員を中心にプロジェクトチームを結成しマッチングに向けた要領である「ハローワーク郡山 マッチング力向上作戦！」を作成した。併せて、本要領に基づき全職員・相談員を対象に研修を実施しマッチングに係るスキルアップを図るとともにマッチング促進に努めた。

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、従来からマッチングや各種支援策等の情報発信に重点を置いて取り組んできたが、来所される方により分かりやすく周知するため、所内入り口の案内板の掲示方法を見直し、サービス改善を図った。また、ハローワークの就職支援に係るサービス内容をまとめた「ハローワーク郡山利用ガイド Hello! Working!」について、ハローワークシステムの新たな機能の情報を盛り込むとともに、より見やすい内容となるよう改善に取り組んだ。更に、新型コロナウイルスの感染拡大下にあってもハローワークの各種支援サービスを途切れさせないようにするため、求人者・求職者マイページの開設勧奨と活用の促進に取り組んだ。

## (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ禍にあって、ハローワークの雇用のセーフティネットとして果たす役割への期待はますます高まってきており、求職者・求人者が持つ多様なニーズに迅速かつきめ細かに対応していくため、ハローワークシステムの刷新により強化されたオンラインサービスの機能の周知と利用促進を図るとともに、求職者一人ひとりに寄り添った課題解決型の支援の更なる充実に取り組んでいく。

## (4) その他業務運営についての分析等

コロナ禍の影響が続く中、業務運営に様々な制約があったこと等から、各種指標は過去3年度平均を下回る指標もあった。一方で、正社員求人数や正社員就職数等のように前年度を上回る指標もみられた。今後の情勢は見通しにくいものがあるが、求人数は製造業等を中心に持ち直しの動きも見られることから、会社のアピールポイントや従業員の方の声を伝える「ハローワーク突撃インタビュー」の実施等により求人票以上の情報収集に努めるとともに、地元自治体等と連携した就職面接会の開催、求職者のニーズや適性に合わせた担当者制の実施や職業訓練の活用等を通じて、引き続きマッチング促進に取り組んでいく。

## 2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	紹介率	障害者の就職 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついた就 職氷河期世代 の不安定就労 者・無業者の 件数	ハローワーク の職業紹介に より、正社員に 結びついたフリ ーターの件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	正社員求人数	正社員就職件 数	生涯現役支援 窓口での 65 歳 以上の就職件 数
令和3年度実績	4,392	4,543	1,522	108.7%	253	703	752	319	19,684	2,423	145
過去3年度平均	5,114	5,202	1,677	116.0%	262	582	583	323	19,815	2,471	99
令和2年度実績	4,393	4,623	1,554	116.2%	253	582	583	288	18,398	2,341	109
対令和2年度比	99%	98%	97%	93%	100%	120%	128%	110%	106%	103%	133%
令和元年度実績	5,272	5,366	1,763	115.7%	268	-	-	307	20,414	1,961	93
対令和元年度比	83%	84%	86%	93%	94%	-	-	103%	96%	123%	155%
平成30年度実績	5,678	5,618	1,713	116.5%	265	-	-	374	20,633	3,112	96
対平成30年度比	77%	80%	88%	93%	95%	-	-	85%	95%	77%	151%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。



# ハローワーク白河 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ①ハローワーク評価の主要指標によるマッチング機能の強化

新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度は就職件数、充足件数とも減少となったが、令和3年度は、製造業を中心に回復基調となったことからマッチングの強化に取り組んだ。就職件数の向上のために職員による求職者担当者制について、雇用保険受給資格者の早期再就職あっせん対象者や「あと一押し」で就職できそうな方、職業訓練修了者を中心に積極的な紹介を行った。これらの対象者は支援者名簿により一元管理し、個別にオンラインを活用した情報提供やハローワークが独自に開催する就活セミナー「就活塾」への参加誘導を実施した。

また、職業相談窓口では、雇用保険認定日には受給者全員と相談を実施し、求職者が就職する条件としての「こだわり条件」を確認しつつハローワークが提案した求人を中心に積極的に提供し、併せて応募書類の添削を実施した。（この取組を「プラスツーサービス」と言う）

その結果、就職件数は1,808件（過去3年度平均比90.7%）、充足件数1,710件（過去3年度平均比91.8%）、雇用保険受給者の早期再就職件数490件（過去3年度平均比95.7%）となった。

#### ②正社員求人の確保と紹介

正社員での就職を希望する方が多いため、非正規求人提出事業所に対しバランスシートや賃金情報を示し正社員雇用のメリットを説明しつつ正社員求人数の確保に努めた。その結果、正社員求人数は4,911件となり過去3年度平均に対し109%となった。

また、正社員就職について、確保した正社員求人の紹介を積極的に実施し、求人充足会議での選定求人や前述の「プラスツーサービス」による提案求人として紹介した。令和3年度の正社員就職件数は958人となり、過去3年度平均に対し100%を達成した。

#### ③充足率向上のための取組

新規求人数は増加したが、未充足求人も増加傾向にあることから次の求人情報を作成し積極的なマッチングに努めた。

- ・過去1週間に受理した週間求人情報
- ・一定期間応募の無かった求人情報（対象職種：建設、福祉、製造、運転の職種（月1回発行））
- ・60歳以上専用求人（月1回発行）
- ・高齢者応援求人（60歳以上の求職者採用に意欲的求人）（月1回発行）

## (2) サービス改善・業務改善を図った事項

### 求職者支援訓練の受講勧奨の強化

コロナ禍により職業訓練情報の提供を各自治体へのHPや地元のスーパーや道の駅に掲示し特例措置を含めて周知していたが、訓練申込が低調であった。このため、開催を見合わせていた公共職業訓練の説明会（愛称「ハロートレーニング説明会」）を庁内でコロナ感染症対策に注意しながら再開し（月1回、15名定員）、各自治体への広報誌にもコース別の案内を掲載依頼した。また、雇用保険受給資格決定時や認定日にアンケートを実施し、その他相談記録からも訓練受講に関心があるとした求職者に対しダイレクトメールで訓練スケジュール、個別に勧める訓練リーフレットの送付により受講勧奨を実施した。

## (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

### ①求職者サービス

令和4年度は令和3年度に職員が求職者の同意を得て職業相談、職業紹介を実施する「双方向型求職者担当者制」の職業相談に加えて、職員が求職者の同意を得ずに専任で職業相談を担当する「一方向型求職者担当者制」を「勝手に担当制」と命名してマッチング支援を行うこととしている。サービスの内容は令和3年度を基本として実施するが、特に職業相談時には求職者が就職にあたって「こだわり条件」のうち優先順位の3位までを明確化することで求職者が想定していない職種の提案や、求人充足会議で早期に充足させる求人を選定して求人を提案するなど、キャリアコンサルティングを活用した相談を実施する。

求職者担当者制が円滑に実施できるよう、職業相談部門、求人部門職員には所内の有資格者を講師とする「キャリアコンサルティングに基づくプラスツーサービス研修」を上半期中に実施することとしている。

また、進捗状況を部門の責任者が管理し、目標に達しない職員および相談員に対しては個別に助言を行い相談から紹介に結びつけるよう促している。

### ②求人者サービス

求人充足会議の対象求人について、求人条件等をあと一押しすると就職が見込める事業所の求人選定基準が明確でなかった。このため、令和3年度は実施要領を見直し、充足可能性が高い一押し求人基準を、「フルタイム常用の事務」、「製造」、「配達・清掃」、「パート常用の事務」、「選考方法が面接のみ等」に明確化した。

また、求人充足率の把握に努め、都度応募状況を確認しながら充足対策を行うこととしている。

さらに、求人担当者制の取組として、未充足求人フォローアップ検証（求人充足会議から4週間経過しても紹介のない求人を対象）を行い、事業所訪問等から仕事内容、職場環境等を把握し、求人・求職条件緩和につなげる取組を行う。

#### （4）その他業務運営についての分析等

令和3年度の新規求人数は、令和2年度と比較すると製造業からの求人数が増加するなど全体的にも増加した。また、求人数の増加に伴い、充足数も増加しているが、新規求人数全体に対する充足率は低下しており、新規求人への職業紹介を強化することが課題である。

また、新規求人数は増加しているものの、求職者に対する求人情報提供件数は減少しており、令和3年度の新規求職申込件数は、令和2年度と比較し、やや増加しているが、職業相談件数は減少している。

以上のことから、今後の求人充足率の向上のためには職業相談時に新規求人をしっかりと提供し、相談から職業紹介へ繋ぐ働きが重要であると考えられるため、令和4年度は「プラスツーマービス」の一環として職業相談時に「こだわり条件」を明確にしつつオンライン機能も活用して新規求人情報を提供する取組を強化することとする。そのため、求職者一人あたりに提供する求人情報件数を意識した職業相談が必要であることから、職業相談部門職員に対しては「キャリアコンサルティングに基づくプラスツーマービス研修」を実施する予定である。

## 2 特記事項

新型コロナウイルス感染拡大後は、事業所訪問が制限されることも多くなり、求人開拓については電話による開拓が中心となった。このため、事業所選定にあたっては所内連携を強化して個別求人開拓の実施や、過去の求人申込履歴や事業所情報を確認し、求職者のニーズが高い職種・業種の事業所や60歳以上の求職者を雇用した実績のある事業所を選定し、求人開拓を行った。

新規求人が回復しつつある一方で、求人者（特に製造業）からは人手不足のため人員の確保が困難になっているとの声がある。企業は、非正規社員の正社員転換や新規学卒者採用を拡大し対応しているが、特に、中小企業からは求人募集しても応募者が無いとの声も多いため、地域のハローワークとして令和4年度は求人充足サービスにより重点を置いた取組を実施する。

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついたフリーター の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	1,808	1,710	490	89.1%	110	266	4,911	958
過去3年度平均	1,994	1,863	512	102.0%	114	221	4,498	956
令和2年度実績	1,792	1,635	441	97.9%	82	221	4,048	808
対令和2年度比	100%	104%	111%	91%	134%	120%	121%	118%
令和元年度実績	2,019	1,890	506	104.1%	—	—	4,519	971
対令和元年度比	89%	90%	96%	85%	—	—	108%	98%
平成30年度実績	2,172	2,065	590	104.9%	—	—	4,926	1,090
対平成30年度比	83%	82%	83%	84%	—	—	99%	87%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

# ハローワーク須賀川 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、職員及び就職支援ナビゲーターの担当者制による職業相談、求人充足会議における選定求人を提案するプラスワンサービス、（職業相談担当者が職業紹介スキル・相談スキルを向上させ、マッチング機能の強化を図る）紹介スキル向上作戦における積極的な求人情報の提供を行った。

また、求職者ニーズを踏まえ、製造業を中心に求人の確保に努めた。コロナ禍の影響から訪問時に接触を希望しない事業所も多かったことから、電話による開拓や求人者マイページによる求人提出を勧奨した。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業紹介業務の目標に関する共通認識を持つため、令和2年度を取組結果と令和3年度の目標値及び目標達成に向けたPDCA研修を実施した。

また、新規採用職員への若手職員による部門間研修を実施した。

さらに、紹介スキルとマッチング向上のためキャリアコンサルティングに基づくマッチング方法についての研修を実施した。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

年度後半に求人充足会議を週1回から週2回の開催とし、充足に向けた取組を強化した。

障害者マッチング会議において、指導する部門と紹介する部門が連携し、事業所指導（障害者受入体制の構築等）の結果、指導にとどまることなく障害者のマッチングを行い、指導・紹介を一体的に実施した。

人手不足分野への取組としては、面接会・説明会の実施や、求人情報・求人情報誌を作成の上、提供した。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の長期化に加え、ウクライナ情勢、円安や原油高による原材料の高騰などによる管内の雇用失業情勢に注視する必要がある。ハローワーク内の業務応援態勢を整備し、雇用失業情勢の変化に迅速に対応できるよう努める。

また、引き続き、会社や自宅から求人・求職登録ができるハローワークインターネットサービス「マイページ機能」の周知・活用を促進し、求人者サービス及び求職者サービスの向上に努める。

さらに、令和3年3月15日に須賀川市、須賀川商工会議所及び労働局の3者にて締結した雇用対策協定に基づく事業を確実に実施していく。

#### (4) その他業務運営についての分析等

新規求人数のうち、約4分の1は製造業からの求人であり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から製造業を中心に求人数が減少した。管内被保険者の約4割が製造業に従事していることや製造業を希望する求職者が多いことから、令和3年度は求職者ニーズを踏まえ、製造業を中心に求人の確保に努めた。その結果、産業別では製造業の求人が28.0%増加したことから、コロナ禍前の令和元年度の水準には回復していないが、製造業の求人を一定数確保することができた。

また、当所での（安定所が職業相談等で把握した求職者ニーズに沿って求職・求人をマッチングして職業紹介する）積極的マッチングによる求人紹介率（紹介件数／新規求人数）及び紹介成功率（就職件数／紹介件数）は局平均を上回った。これは、求職者の適性や希望条件を踏まえた求人の提案ができたものと考えている。令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を確実に実施していくとともに、引き続き、求人の確保、求職者訓練への誘導、ハローワークシステム刷新に係る機能を活用したサービスの充実に努めていく必要があると考えている。

## 2 特記事項

職業紹介業務の目標に関しての共通認識を持つため、年度初めに職員及び相談員に対して、前年度の取組結果と新年度の目標値及び目標達成に向けた取組について研修を行ったほか、毎月の個々の業務の進捗状況を管理し、定期的に個別ヒアリングと状況に応じた紹介スキル向上のための研修を行った。

業務の進捗状況を全職員及び相談員が随時共有する取組であり、職員等個々のとるべき行動を各自確認することができたものと考えている。

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついたフリーター の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	1,669	1,407	475	97.2%	141	253	4,956	888
過去3年度平均	2,058	1,797	552	109.0%	233	288	5,146	1,078
令和2年度実績	1,807	1,527	404	105.8%	233	288	4,616	923
対令和2年度比	92%	92%	117%	91%	60%	87%	107%	96%
令和元年度実績	2,062	1,819	585	111.3%	—	—	5,230	1,086
対令和元年度比	80%	77%	81%	87%	—	—	94%	81%
平成30年度実績	2,305	2,046	667	110.1%	—	—	5,592	1,226
対平成30年度比	72%	68%	71%	88%	—	—	88%	72%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

# ハローワーク相双 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

・主要指標の目標達成に向けて、能動的マッチングによる求人情報提供を推進し、双方向型の求職者担当者制の実施、雇用保険受給者の認定日における全員職業相談を行った。

・人手不足対策を最重点課題と考え、次の取り組みにより求職者の職業理解を促した。

「ミニ説明会」は本所・出張所で年間74回開催した。

11月の介護就職デイでは介護事業所説明会を6回開催した。

人手不足の「建設・土木作業・重機オペレーター等」を掲載する求人情報紙を週1回発行した。

南相馬市主催の「医療と福祉合同就職フェア」（12月、3月に開催）に共催事業として参画した。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

・中長期的な職員の育成を図る観点から、各種研修（待遇研修、求人業務研修、職業紹介基本業務研修、雇用保険関係研修等）を実施した。ハローワークの職業相談等においては、労働関係法令の知識が必要になることから、12月には労働基準監督署職員による研修を実施した。

・労働局が実施するキャリアコンサルティング研修へ研修生と講師の送り出しを行った。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

・地域住民に対して広くハローワークの利用を周知するため、管内自治体と連携し町内会回覧板に求人情報を添付する取り組みを行った。

・「ミニ説明会」への参加促進に向け、事業所情報の充実化及び周知用ミニポスターに画像を掲載する等の工夫をした。

・所内掲示物に「ポップ」を付ける等により、各種情報が利用者の目に止まりやすくした。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として設置した飛沫防止パネルには、職業訓練や最低賃金情報等を貼り付け、効果的に情報を発信する工夫をした。

・事業所情報を充実させるため、事業所訪問の実施曜日をあらかじめ設定し訪問計画の早期共有を図った。



(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・利用者の待ち時間対策として就職支援、充足支援のための情報提供等について検討し整備する。
- ・求職者・求人者に対するマイページ開設を推進し、マイページを活用した支援を実施する。

(4) その他業務運営についての分析等

東日本大震災後の避難者の帰還が進まない中、進出企業もあり、特に若年者を中心に慢性的な人手不足状態が続いている。また、復興需要のピークは過ぎ、求職者が増加している。求職者ニーズをふまえた求人条件の設定や求人内容の見直しを働きかける等、適切な求人者支援を行っていく必要がある。ハローワークシステム刷新により拡充されたオンラインサービスの活用により雇用の促進を実施していく。

## 2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついた就職氷河 期世代の不安定就労 者・無業者の件数	ハローワークの職業 紹介により、正社員に 結びついたフリーター の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	2,325	2,287	574	92.9%	250	196	8,288	1,158
過去3年度平均	2,456	2,459	572	92.0%	127	160	9,044	1,247
令和2年度実績	2,111	2,112	533	87.9%	127	160	8,714	1,086
対令和2年度比	110%	108%	107%	105%	196%	122%	95%	106%
令和元年度実績	2,568	2,518	588	93.6%	—	—	9,383	1,273
対令和元年度比	90%	90%	97%	99%	—	—	88%	90%
平成30年度実績	2,689	2,746	594	94.5%	—	—	9,034	1,382
対平成30年度比	86%	83%	96%	98%	—	—	91%	83%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

# ハローワーク二本松 就職支援業務報告（令和3年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・人材確保対策のため当所会議室にて「企業ミニ面接会」を12回開催（令和2年度は8回）し、参加者が61人（令和2年度は55人）、うち就職者が11人（令和2年度は12人）となった。
- ・雇用保険受給者の早期再就職を図るため、求職相談申込時や初回認定日の職業相談の充実を図り、各種支援メニューの詳細な説明や、求職者マイページの開設、再就職手当の制度について案内を行い、給付制限中の方に対しては認定日応当日に来所を勧奨し職業相談を実施した。
- ・双方向型の求職者担当者制を実施し、求職者のニーズをとらえ適格紹介に努め就職へ結びつけた。
- ・就職氷河期世代に対する取り組みとして、限定・歓迎求人確保に努めたうえ、支援対象者の把握を徹底するとともに、個々の状況に応じたきめ細かい支援を行った。
- ・高卒就職予定者に対する取り組みとして、学校へ出向いての職業講話の実施及び事業所訪問による職場定着指導を行った。また、求人受理説明会、地元企業説明会を実施し、高卒求人の早期提出を促し、求人事業所に対する理解を深めることができた。
- ・職業訓練受講あっせん推進のため、リーフレットを作成したうえ窓口職員に対する研修を行い、雇用保険初回受給者説明会において訓練機関の担当者による説明時間を確保し、また、「ハロートレーニング&ジョブカード説明会」を毎月開催し周知を強化した。さらに市村の広報紙等に職業訓練の制度について掲載依頼を行い、周知を行った。
- ・求人者及び求職者マイページの利用促進のため、所独自リーフレットを作成し周知を行った。また、求職者の方に対して、オンライン登録を促進するため、市村の広報紙等へオンライン登録の内容についての掲載依頼を行い、周知を行った。
- ・地方自治体との連携を強化するため、二本松市と令和4年3月24日雇用対策協定を締結した。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・求人者及び求職者マイページの利用促進のため、独自リーフレットを作成し周知を行った。
- ・求職者マイページ及び職業訓練についての周知を強化するため、受付カードへ支援メニューの表示及び求職者マイページ開設勧奨メッセージの表示を行った。

- ・職業相談の専門性の向上による職業紹介技法を高めるため、キャリアコンサルティング等の研修を行った。
- ・求人者に対する求人の充足サービスで、新規正社員求人や条件緩和された求人等を条件に適合するような求職者に対し情報提供を行う（マッチング）ため、職業相談部門と求人部門の間で毎日実施している「充足会議」の他に、実際に職業相談部門でマッチングを行った結果や求人条件に対する意見などを職業相談部門と求人部門で共有し充足をさらに図るため、「パワーアップ充足会議（月2回開催）」における求人充足フォローアップ体制の強化を行った【（「充足会議」でマッチングの選定対象求人としたが、マッチングが難しい求人についての検証。→パワーアップ充足会議開催時に職業相談部門の意見（何故マッチングが難しいかの原因や改善等）を検討し、求人者に対してどのような働きかけが必要か意見交換する。必要に応じて事業所へ働きかけて、その結果を職業相談部門にフィードバック、再度マッチングを試みる、など。】。
- ・求人充足サービスとして「事業所PRシート」の取組み（「福祉、建設、運輸、警備」といった人材不足分野の求人事業所が、自身で事業所のPRのシートを作成し、ハローワーク庁舎内に一定期間掲示し、求人票だけではわからない事業所の魅力を求職者にアピールすることによって求人充足を図るもの。ハローワーク二本松からの「おすすめポイント」も付加掲示し実施。）

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・所内の連携を図り、あらゆる機会を捉えて、以前収集していた画像情報の使用可否の確認を事業所に対して進め、画像情報等を充実させ、求人充足につなげる。
- ・引き続き、職業相談の専門性の向上が必要となるため、各種ツールを活用した適職診断等を活用し、担当者制での個別支援の充実を図る。
- ・求人者及び求職者マイページの普及促進を図り、マイページを活用した支援をさらに強化する。
- ・二本松市との雇用対策協定を生かし、確実な事業計画の実行と新たな事業の取組みを検討し、更なる事業の充実・強化を図る。

### （4）その他業務運営についての分析等

- ・職業相談窓口を担当する職員に対し、専門性の向上を図るため、引き続きキャリアコンサルティング等相談技法に係る研修の強化に取り組む。

## 2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介 により、正社員に結びつ いた就職氷河期世代の 不安定就労者・無業者の 件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	1,256	1,239	340	96.9%	75	4,551	661
過去3年度平均	1,456	1,344	417	106.0%	79	4,108	742
令和2年度実績	1,279	1,114	322	103.7%	79	3,793	633
対令和2年度比	98%	111.%	105%	93%	94%	119%	104%
令和元年度実績	1,526	1,408	444	110.1%	—	4,128	771
対令和元年度比	82%	87%	76%	88%	—	110.%	85.%
平成30年度実績	1,564	1,511	485	102.8%	—	4,407	822
対平成30年度比	80%	81%	70%	94%	—	103%	80%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。